

# NEWSLETTER

DEC. 2025

ISSUES #8

当社の旬な話題をご紹介する  
**大気社ニュースレター**  
発行元：株式会社大気社 経営企画部  
広報・サステナビリティ推進課  
連絡先：mailmast@taikisha.co.jp

早田ひなさん  
日本生命所属  
卓球選手

長田雅士  
代表取締役社長  
株式会社大気社

## 技術を磨き、未来をかたちにする 安定した力を發揮するためには

### 一流アスリート×大気社 スペシャル対談 後編

前号では「世界に挑む決意と覚悟」をテーマに、グローバルな舞台で挑戦し続ける姿勢について語り合った早田ひなさんと大気社社長・長田。後編となる本号では、両者の共通点である“技術への向き合い方”に焦点を当てます。

卓球とエンジニアリング——フィールドは異なりますが、どんな状況でも安定して力を発揮するための姿勢や、日々の積み重ねを通じて結果につなげるための考え方、そして未来への挑戦について聞きました。

#### 技術を磨き続ける—— 現状否定と進化への挑戦

##### ——グローバルで活躍するために、 技術面で心がけていることは？

早田ひなさん：常に「進化」していくために、必要であれば今ある現状を思い切って捨てるなどを躊躇しないようにしています。「本当にこれでいいのか？」と自分に問い合わせ、たとえ今の技術で十分だと感じても、その先を目指すならもう一度自分を見つめ直して変えていく—そんな意識を常に持つようにしています。またパワーの強化、ラリー力、サーブ・レシーブの駆け引き、さらに視線のトレーニングや感性を磨いたりなど、毎日頭がパンクしそうなくらい、あらゆる側面から研究や分析を重ね、技術を磨いています。

大気社・長田：ビジネスパーソンも

同様に、若い頃は寝食を忘れるくらい何かに没頭する時期があります。技術を磨き、知識を深める過程は非常に楽しく、時間を忘れるほどです。こうした経験が自分の殻を破り、次のステップへ進むための力となります。

#### オンとオフ、 自己鍛錬とリフレッシュ

##### ——自己鍛錬やリフレッシュのために心がけていることは？

早田ひなさん：私は卓球が本当に好きで、放っておくとずっと練習してしまうほどです。ただ、年齢を重ねるにつれてオンとオフのメリハリをつけることが大切だと感じるようになりました。オフの時は完全に卓球から離れてゆっくり休むなど、意識的に頭をリセットしています。そうすることで、次の日からの練習に向



けてオンオフのスイッチをしっかり切り替えられます。常に中途半端にオンの状態でいるよりも、完全にオフにしてから一気に集中する方が今の自分には合っていると感じています。オリンピックに出場してメダルを獲得して皆さんに恩返ししたいという夢を叶えたことで、私の中で「シーズン2」が始まりました。新たな気持ちでモチベーションを維持し続けるために、卓球以外にも興味を広げ、本を読んで感性を磨いたり、初めてラケットを持たずにスペイン旅行をしたりと、違う視点から卓球を楽しむようになりました。こうした経験が、自分を変えるきっかけになっています。

**大気社・長田：**社員にはオンとオフのメリハリや教養を深める時間を持つことを勧めています。たとえば海外出張では現場とホテルの往復だけでなく、現地の文化に触れる時間を持つことで心に余裕が生まれ、視野も広がると思います。

### 学びを重ね、次の世代へ伝えていく

### —卓球人生における覚悟について教えてください。

**早田ひなさん：**自分の行動が誰かに影響を与える、という責任を常に意識しながら卓球に向き合っています。今の時代、SNSなどで情報がすぐに広まる中、自分の振る舞いが誰かの目に留まり、「こうなりたい」と思ってもらえる存在になれたらそれだけで幸せです。そのためにも、気の緩みによって大切な人に迷惑をかけることのないよう、自分を律します。

ながら周囲を守り続ける意識を持って行動しています。私の原点である石田卓球クラブでは技術だけでなく人間性も学びました。強い選手たちの姿から多くを学び、チームで頑張ることの大切さや、忍耐力も身につけることができました。成功も失敗も含めて、すべての経験が今の私をつくっています。

**大気社・長田：**会社も同じです。先輩の背中を見て学び、文化を受け継いでいくことが大切です。経営者としては、従来の延長線上にはない根本的な変化に向き合う、“不連続を渡る”といった覚悟や、正しいことをきちんとやる姿勢を後進に伝えたいと思っています。

### 未来への挑戦—— 夢を持ち、自己実現の場へ

### —今後の夢や挑戦について教えてください。

**早田ひなさん：**今は結果を求められる立場にあり、日本代表としての覚悟と責任を持って取り組んでいます。その上で、将来的には海外のリーグでプレイしてみたいという思いがあります。海外の文化に触れながら、これまでとは違った環境で卓球



に向き合うことで、自分の自由なスタイルで感性を活かした卓球ができるかもしれませんと期待しています。

**大気社・長田：**若い社員が自立し自己実現できる場を提供することが、会社の持続的な成長につながると考えています。個性を尊重し、夢を持って挑戦できる環境づくりを目指しています。

**【編集後記】**前編・後編のインタビューを通じて強く感じたのは、世界の舞台で戦う早田ひなさんと技術の現場を支える大気社——立場は違っても、どちらも「挑戦を続ける姿勢」を大切にしているということです。日々の積み重ねの中で自分を磨き、どんな状況でも前を向いて努力を重ねる。その継続の力こそが、技術を支え、未来をかたちにする原動力になるのだと感じました。技術とは、誰から与えられるものではなく、一人ひとりが経験を重ねながら自分の中で育っていくもの。挑戦と努力の先にこそ、私たちが目指す“技術の進化”がある。この対談は、そのことを改めて気づかせてくれました。



人追従吹出口FOLLOAS（フォロアス）の広告に早田ひなさんが出演中